

## 港区立麻布いきいきプラザ等整備計画（素案）に対する主な意見及び区の考え方について

### 1 区民意見募集（パブリックコメント）の概要

募集期間：令和2年2月1日（土）～同年3月1日（日）

応募意見数：6通 18件

### 2 説明会概要

港区立麻布いきいきプラザ等整備計画（素案）についての説明会

開催日：令和2年2月14日（金） 第1回：午後4時～午後5時 第2回：午後6時30分～午後7時30分

会場：麻布いきいきプラザ2階講習室

周知方法：①麻布いきいきプラザ及びみなとリサイクル清掃事務所作業連絡所近隣住民（約200世帯）に案内ちらしを投函

②麻布いきいきプラザの利用者に案内ちらしを配布するとともに館内に掲示

③周辺の区設掲示板（16か所）に案内ちらしを掲示

参加者：37人（内訳：第1回 20人 / 第2回 17人）

### 3 意見の種別と対応状況

1 意見を反映し、素案を修正したもの	3件
2 素案に意見の趣旨が反映されており、素案のとおりとするもの	5件
3 今後の設計・工事や施設運営等で検討するもの	15件
4 意見の内容が対応不可能なもの	5件
5 その他、区に対する意見・要望・質問として受けたもの	13件
合計	41件

<対応状況区分>

- 1： 意見を反映し、素案を修正したもの
- 2： 素案に意見の趣旨が反映されており、素案のとおりとするもの
- 3： 今後の設計・工事や施設運営等で検討するもの
- 4： 意見の内容が対応不可能なもの
- 5： その他、区に対する意見・要望・質問として受け付けたもの

(1)港区立麻布いきいきプラザ

No.	対応状況	意見内容	区の考え方	修正箇所 ・素案記載箇所
1	1	敬老室でカラオケをするとなっているが、マッサージ機などを置くと狭くなる。是非カラオケは集会室でも実施して欲しい。	敬老室だけでなく、集会室A、Bにも防音対策を講じ、カラオケを楽しんでいただけるようにします。	各諸室の面積と考え方 麻布いきいきプラザ 集会室A、B (P.68)
2	1	集会室で踊り等の練習時に足袋になることが多く、フローリングでは冷たいため、床暖房を設置できないか。	集会室A、Bに床暖房を取り付けます。	各諸室の面積と考え方 麻布いきいきプラザ 集会室A、B (P.68)
3	1	集会室はダンス等で利用できるがあるとあるが、この場合ステージや防音機能はつくのか。また、更衣スペースはあるのか。	可動式ステージの設置と防音対策を講じた集会室を整備します。また、集会室の天井にカーテンレール等を付け、カーテン等で区切り更衣できるスペースを確保します。	各諸室の面積と考え方 麻布いきいきプラザ 集会室 (P.68)
4	2	エクササイズスペースを十分にしてほしい。麻布地域のいきいきプラザは運動スペースが狭すぎる。十分に手足を伸ばせる、隣を気にせずに運動ができるスペースを確保してほしい。	健康トレーニング室は、運動できるスペースを最大限確保しています。	各諸室の面積と考え方 健康トレーニング室 (P.68)
5	2	1階と3階の廊下は、車椅子が方向転換できるのか。特に1階の集会室Cに通じる所と3階の集会室AとBの前はどうか。	車椅子が方向転換できるスペースを確保しています。	平面図 1、3階 (P.72、74)
6	2	入口と道路が同じ高さですが、何年か前のゲリラ豪雨で前面の道路が浸水してしまった。少なくとも分電盤とかは道路より高いところに置いたほうが良いのではないか。	仮に水が敷地内に入っても影響が少ないよう、3階の機械室に設置することとしています。	

No.	対応状況	意見内容	区の考え方	修正箇所 ・素案記載箇所
7	2	誰でもトイレには、オストメイトを設置していただきたい。また、車椅子が方向転換できる広さを確保してほしい。	区の整備基準どおりに誰でもトイレに、オストメイトを設置します。詳細は、設計の中で検討します。また、車椅子が方向転換できる広さを確保します。	
8	2	この時代一番大事なのは防災ではないかと思いますが、必要な備蓄が全部入るほど広いのか。	防災備蓄倉庫の面積を最大限確保しています。備蓄する物資の詳細については、今後検討します。	
9	3	整備計画において、地域の世代間交流を創出するために麻布いきいきプラザの浴室を高齢者以外も利用できるよう検討しているようだが、そのような利用方法には反対である。いきいきプラザは、基本的には60歳以上の区民の健康や生きがいのためのものである。	いきいきプラザの役割は、「高齢者のいきがづくり、学びの場」「介護予防、健康づくりの場」に加えて「ふれあい、コミュニティ活動の場」となっています。浴室を活用した世代間交流を行うことで、地域のつながりを強めたいというご要望もあり、今後、麻布いきいきプラザの利用者や地域の方々のご意見をお聞きしながら、浴室の利用方法について検討します。	
10	3	浴室を含め、高齢者だけでなく、若い世代や子ども世代も一緒に交流できるような施設としてほしい。	浴室の利用方法については、麻布いきいきプラザの利用者や地域の方々のご意見をお聞きしながら検討します。	
11	3	スタッフ用の休憩室及びロッカー室や洗濯機などを置くリネン室を確保すると良いのではないのか。	スタッフの休憩室及びロッカー室は2階の事務室内に確保できるよう、設計の中で検討します。また、洗濯機は現施設と同様に新施設でも設置します。	
12	3	もう少し駐車場を広くできないか。地域開放がいきいきプラザの目的でもあるので、地域のイベントをやるのに、駐車場を使えると良い。また、いきいきプラザがここですと分かるよう、屋外にいきいきプラザの看板を置けると良いので、駐車場を広くできないのか。	諸室の面積が狭くなるため、いきいきプラザの駐車場をこれ以上広くすることはできませんが、地域イベントの実施場所として、収集作業のない日曜日に清掃作業場を開放する予定です。また、利用者や歩行者等に施設の場所がわかりやすい看板の設置場所について検討します。	
13	3	浴室を利用する際のルールをわかりやすくして欲しい。利用制限時間（例えば40分間まで等）を設定してもらえれば、更に利用しやすいと思う。	浴室の利用実態等を踏まえ、利用しやすいルールを検討していきます。	
14	3	1階の区民協働倉庫の使用は、期間の限定はあるのか。	区民協働倉庫については、今後詳しい運用方法を検討します。	

No.	対応状況	意見内容	区の考え方	修正箇所 ・素案記載箇所
15	3	区民協働倉庫には、どのようなものを入れるのか。広さはどのくらいか。	広さは約14㎡を想定しています。倉庫には町会等が地域活動で使用するものを置いていただく予定です。詳しい運用方法については今後検討します。	
16	3	区民協働倉庫は、老人クラブで使う物も置けるとあって良いか。	区民協働倉庫は、町会等が地域の活動で使用する物を預かることを想定しています。老人クラブの物品については、いきいきプラザの倉庫内にスペースを確保できるよう検討します。なお、防犯上のことを考えて、老人クラブからいただいているロッカーを置いてほしいというご要望については、対応します。	
17	3	1階に設置予定の防災倉庫については、1階の海拔を考えると東日本大震災クラスの津波で被災すると思う。3階以上に設置すべきである。	当該計画地の海拔は約12.3mであり、区の予測では津波による浸水は想定していませんが、台風等による浸水対策として、食糧等の備蓄については、上階に保管場所を確保できるよう検討します。	
18	3	屋上に予定している設備スペースで、空調室外機が稼働している場合には音と熱風が道路反対側の住宅に悪影響があるのではないか。	屋上の空調室外機は、近隣への影響が極力少なくなるようフェンス等で囲います。詳細は、設計の中で検討していきます。	
19	3	階段は歩きやすく安全な段の高さやゆるやかな傾斜としてほしい。	歩きやすい高さや傾斜となるよう、設計の中で検討します。	
20	3	3階の集会室Bの入口は、集会室Aの近くではなく、エレベーター前に近い所の方が便利だと思います。	設計の中で検討します。	
21	3	建物東側の屋外通路に、扉はなぜあるのか。防犯のためかもしれないが、火災発生時等、逃げるのにこの扉が邪魔になるのではないか。	当該扉はセキュリティ上で計画しているものですが、代替方法など設計の中で改めて検討します。	
22	3	防災備蓄倉庫には、何が入っているのか。広さはどのくらいか。	防災備蓄倉庫の面積は、3か所合計で27㎡です。倉庫に備蓄される物資は、食糧と水、マンホールトイレの機材、毛布、プライバシー保護用パーテーション等を予定していますが、詳細は今後検討します。	

No.	対応状況	意見内容	区のお考え方	修正箇所 ・素案記載箇所
23	3	雨水を中水として利用することをぜひ実現してほしいが、装置・設備等を配備する場所はどこになるのか。	便器洗浄や植栽灌水等に中水を利用することについて、設計の中で検討します。	
24	4	1階の集会室Cと3階の機械室の場所は交換できないのか。集会室Cの場所は崖の横であり、暗いので交換できると良い。	機械室は水害が発生した場合を考慮し、3階に設置しており、1階の集会室Cと交換することは難しいと考えています。集会室Cの室内の明るさについては、照明等で調整していきます。	
25	4	麻布いきいきプラザへのアクセスを良くしてほしい。多くの車両が狭い道を通るので、歩きにくい。もっと安心して通える道ができると良い。	麻布いきいきプラザの前面の道路については、道路幅員（幅）が狭く、歩道を設置して、歩行者と車両の通行空間を分けることは困難です。そのため、歩行者の通行部分をカラー化し、視覚的に歩行者優先の通行空間を作り、歩行者の安全対策を実施しています。	
26	4	なぜ地下は建えず、4階建てになったのか。地下であれば、防災の機材も置けると思う。これは予算的な面でこのような建物になったのか。	地下室を設けた場合、地下にドライエリアを設けることになり、その分、建物全体として有効に活用できる床面積が狭くなるためです。予算上の制約ではありません。	
27	4	建物入口のところをもう少し道路側に伸ばせば、1階部分のスペースをもっととれるのではないのか。	すでにほぼ最大限の容積率で計画しており、これ以上床面積を広げることは困難です。	
28	5	改築にかかる予算はどの程度なのか。	建設費用は、現時点での試算では約10億円です。今後設計する中で建設経費の削減を含め適切な経費を算定します。	
29	5	浴室の利用者が増えた場合は、毎日男女ともに入れることも可能なのか。	現在、他のいきいきプラザも週3日の利用になっています。浴室の利用日を増やすことについては、現時点では考えていません。	
30	5	多様なメニューでランチ提供をしたら良い。高齢期には食が細くなり、外食を避け、内食が多くなる。いきいきプラザでその人に合った量を提供されれば、利用しやすい。食材廃棄も少なくなるし、仲間も増えるかもしれない。	いきいきプラザでは、週1回栄養バランスの取れた食事を提供する会食サービスを実施しています。ご利用ください。	
31	5	この施設が完成するまでは、今の仮施設の麻布いきいきプラザは利用できるということで間違いはないか。	新たな施設が完成するまで現在の仮施設を使用することができます。	

No.	対応状況	意見内容	区の考え方	修正箇所 ・素案記載箇所
32	5	旧麻布保育園の建物をどうするかは、なかなか決着がつかないと思うが、現在の麻布いきいきプラザの建物に限っては、今までいきいきプラザとして使っていた実績があるので、今後の利用方法が決まっていなければ、期間限定でもいから一般の人のトレーニングスペースとお風呂のスペースとして暫定的に使ってはどうか。	現在の麻布いきいきプラザの建物の活用は、現時点では未定です。旧麻布保育園や、その隣地の活用も含め、関係部署で検討していきます。	
33	5	浴室はだいたい一度に何人くらい入れる規模なのか。	男性浴室、女性浴室とも、それぞれカランを4つ設置する予定です。同時に4人の入浴が可能です。	
34	5	各階と廊下の上に引き戸のマークが書かれているが、どのような時に閉められるのか。	火災時に自動的に閉まる防火扉です。	
35	5	マンホールトイレを施設利用者以外の人でも使用することはできるのか。また、洗浄水タンク式トイレの水源の確保はどのようにするのか。	マンホールトイレは、区民避難所の避難者が使用することができます。また、災害時の洗浄水タンク式トイレ用の水源はありませんが、防災備蓄倉庫には凝固剤付きの使い捨て簡易トイレを備えています。	
36	5	敷地の東西の塀や北側の南山小学校の擁壁は大丈夫なのか。地震による被害が心配だ。	敷地の東西の壁（万年塀）は改修する予定です。また、南山小学校の擁壁は定期的に点検を行っており、安全性を確認しています。	

## (2)港区みなとリサイクル清掃事務所作業連絡所

No.	対応状況	意見内容	区の考え方	修正箇所 ・素案記載箇所
37	4	目黒区では、区民から無償で寄せられた不用品を販売するリサイクルショップがあり、中央区にあるリサイクルショップでは委託販売を行っているようだ。 品川区にも、リサイクルショップがあるようだ。 港区にも、まだ使えるものをゴミとして捨てずに次の人に受け渡せる場が便利な場所にあるといいと思う。 家具のリサイクル展は知っているが、家具限定だし、遠方なので気軽に足を運べない。リサイクルショップを併設してほしい。	区では、不用品のリユース促進のため、常設の家具のリサイクル展と年2回の子供服・本・おもちゃの交換会を実施しています。民間のリサイクルショップやフリマアプリなどが活発に活用されており、本施設整備においてスペースを確保することも困難なことから、区のリサイクルショップの併設は考えておりませんが、麻布いきいきプラザと連携した3R推進事業について検討していきます。	
38	5	建築着工が令和4年度ということで、今の作業連絡所の取壊し時期と工事中の代替場所を知りたい。	工事着工は、令和4年7月を予定しています。約3か月で解体する予定です。工事期間中は、代替地の確保が困難なことから、車の台数を増やして、港南の資源化センターに直送する方向で検討しています。	
39	5	今回整備され、ごみを集めてこられる範囲が広がるとか、集まってくるごみの量やトラックの交通量が増えたりとかというのが想定されるのか。	プラスチックや瓶、缶、ペットボトルなどの資源について、回収エリアは赤坂地区と麻布地区になります。基本的に回収エリアが広がることはなく、車両の増加も予定していません。	
40	5	せっかく整備するので、ビルの横にためているプラスチックごみが道に飛んでこないように対策を考えているのか。	現在も回収した資源が散乱しないよう注意を払っておりますが、新しい施設になることを機に、資源が風で飛ばされたりしないよう、対応をより一層強化していきます。	
41	5	新しい作業連絡所では、放置自転車リサイクル業務をしないのか。	作業連絡所で実施している放置自転車リサイクル業務については、新しい作業場所に移転して実施する予定です。移転先については所管課で調整中です。	